

災害へ万全の備えと心構えを
津別消防演習を実施

6月26日、平成28年津別消防演習が、津別小学校グラウンド等で実施されました。津別消防署から16名、津別消防団から79名、美幌消防団から6名、車両8台（うち美幌消防団1台）が出勤して行われた演習では、小隊訓練や消防ポンプ車操作などに真剣な表情で取り組み、日ごろの訓練成果を披露しました。

演習の合間には、RECつべつのリコーダー演奏、認定こども園の園児たちによるミニ消防放水のアトラクションを実施。消防庁舎前の道道では、工場火災発生を想定した模擬火災訓練の一斉放水も行われました。



野生大麻ゼロ作戦！
大麻の抜き取り作業を実施

北見保健所管内に自生する大麻の抜き取り作業『野生大麻ゼロ作戦！』が今年も実施され、津別町では7月12日、津別ライオンズクラブ、北見保健所、役場などからの参加者が作業に汗を流しました。トラックに集められた大麻は860本、230kgにも及び、これらは全て埋め立て処分されました。



管内には、多くの野生大麻が自生しており、大麻を悪用した犯罪が社会問題化していることから、毎年大きく生育する前のこの時期に行われているのです。

ミスターコンサドーレが先生
曾田雄志さんのサッカー教室開催

6月28日、元コンサドーレ札幌の曾田雄志さんを講師に招いてのサッカー教室が開催されました。

会場のふれあい公園サッカー場Bグラウンドは、リニューアルされたばかりで、緑が鮮やかな最高のコンディション。参加した小学生、中学生たちは曾田さんの分かりやすい指導の下、基本のリフティングから実践的なプレーまで、真剣に練習に取り組んでいました。



児童館つべつん
みんなで流しソーメン

晴天に恵まれた7月9日、津別児童館つべつん主催の「流しソーメン」事業を、町民会館敷地内にて開催しました。

保護者会協力のもと、児童・保護者併せて68名が初夏を感じる流しソーメンを堪能しました。

ソーメンの他にも、提供いただいたミニトマトやきゅうり、イチゴやゼリー等も流し、子どもたちは喜んでお腹いっぱい食べていました。



第66回社会を明るくする運動
ふれあい町民の集い開催

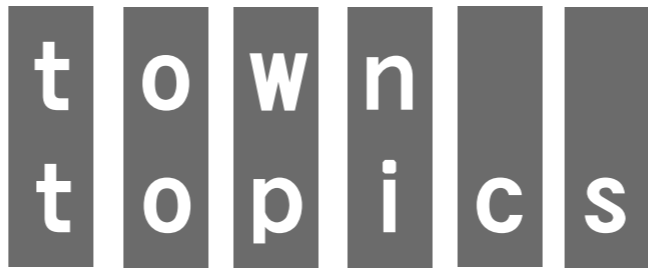
7月7日、平成28年度「ふれあい町民のつどい」（主催 社明運動津別町推進委員会）兼「津別町連合PTA研修会」（主催 津別町連合PTA）が、中央公民館で開催されました。

佐藤多一町長の主催者あいさつの後、幌地区保護司会津別分区長の福井全雅さんが内閣総理大臣メッセージを紹介。標語コンクール表彰式では、入賞された皆さんに賞状と記念品が贈られました（各部門の最優秀賞作品を12ページに掲載）。

後半は、津別町連合PTAの講演会が行われ、(株)NTDドコモ北海道支社スマホ・ケータイ安全教室担当の山口恵理さんが、「スマホ・携帯の現状と安全な使い方」をテーマにお話をされました。



▲標語コンクール一般の部最優秀賞の表彰を受ける津別高校1年の木内基貴さん



まちのわだい

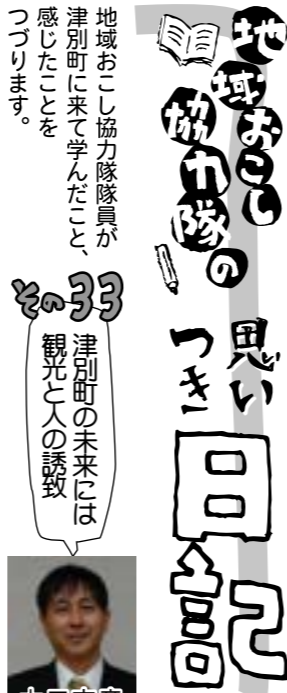
津別産の安心食材を子どもたちに
和牛肉寄贈と放牧牛乳の提供

7月12日、学校給食用に津別町酪農振興会（大矢根督会長）から津別町産牛乳「明治・牛と共に生きる放牧酪農家の牛乳」の提供が、また津別町肉牛振興会（迫田浩司会長）から津別町産黒毛和牛肉の寄贈があり、宮管教育長にそれぞれ目録が贈られました。給食を通じて、子どもたちに地元食材の素晴らしさを



▶左から津別町肉牛振興会・北野副会長、宮管教育長、津別町酪農振興会・大矢根会長

知ってもらふとともに、安心安全なものを提供したいという生産者の思いから毎年実施されているものです。毎週火曜日に提供される牛乳は、通常より割高になる分との差額を酪農振興会が負担します。



京都出身 東京での学生・サラリーマン生活、イギリス・タイ等長年の海外生活経験を経て日本へ帰国。

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

33 津別町の未来には観光と人の誘致



5月に京都から津別観光協会に来ました、地域おこし協力隊の太田と申します。よろしくお願ひします。

津別の観光地はノンノの森が一番好きです。川の流れが癒されます。津別峠・チミケップ湖は知床には勝てませんが、阿寒湖や釧路なんかより魅力的だと感じています。

津別は若者にとっても十分魅力的な町だと思います。道東の観光地にも2時間圏内で、自然の好きな人にとって津別はパラダイスです。最近ではインターネットさえあれば自宅で出来る仕事もあるのです、そんな人達が津別に移住してくれればと思っています。



タイ赴任中のひとコマ。タイ・ミャンマー国境ジャングル川登り。津別にもこんな場所があれば観光に使えます。

